

ベトナムの教育語る

丸岡南中で留学生授業

ベトナム人留学生による
出前授業が五日、坂井市丸
岡町高瀬の丸岡南中学校で
あった。一年生百二十四人
を前に、母国で満足な教育
を受けられずにいる子ども
たちの現状を伝えることも
に、夢を持ち人の役に立つ
ことの素晴らしさを語っ
た。

東南アジアの山村で学校
建設や教育支援をするNPO
法人「アジア教育友好協
会」(AEFA)が毎年、
県内小中学校で実施してい
る。

丸岡南中にはレ・ゴック

・バオ・ヴィさん(三)横
浜国大三年〃とAEFAコ
ーディネーターの山川香さ
ん(三)が訪れ、少数民族が
住む山岳部では学校施設や
教材も満足にないことなど
ベトナムの教育環境格差を
紹介。子どもたちの自立に
必要な教育支援の必要性を
訴えた。

レ・ゴックさんは「他人
の役に立つことで幸せにな
れる。私はそれが夢にな
り、生きがいになった」と
話し、世界に出てさまざま
な出会いを経験してほしい
と訴えた。遠藤柚月さん

(二)は「ベ
トナムの人
たちの助け
になること
を試してみ
てみた」
と新たな夢
を見つけた
ようだった。



自分の経験を基に夢を持つ大切さを語りかけるレ・
ゴック・バオ・ヴィさん(三) 坂井市丸岡南中学校で

出前授業
は同市平章
小学校と鯖
江市河和田
小学校でも
あった。六
日は勝山市
成器西、村
岡両小学校
と坂井市三
国北小学校
でも開く。
(中田誠司)